

静岡理工科大学 ● 広報誌



キャンパスニュース

C A M P U S N E W S

2008

8

VOL.33



特集

- 学部・学科紹介
- 大学評価で適合認定

理工学と情報学の進化形!

総合情報学部を新設し、2学部5学科での初めての入学式で荒木学長に宣誓を行う入学生代表。



理工学と情報学の進化形!

学長 荒木 信幸

この表題は、今年度発行の「大学案内」の表紙を飾っているキャッチフレーズです。確かに本学は、この4月から総合情報学部と理工学部の2学部体制になりましたし、時代の要請に基づいて、新しいコースが幾つか設置されました。

大学の進化論とか進化形とは、言葉として少し妙な使い方ですが、技術者を養成する大学においては、世の中の急速に発達する技術にあわせて、常に変革が求められ、対応しているのです。今回は、学問の府としての立場を保ちながら、新しい技術分野を取り入れた改革なのです。

特に情報機器の発達には目を見張るものがあり、新しい機器が数年で陳腐化するスピードですし、日常生活のあらゆるところにコンピュータが入り込んでいます。それを動かすソフトウェアも技術の産物です。当然、これらを開発する立場の人間も頭を切り替える必要があります。理工学的な技術だけでなく、文系的な要素や人間の感性が必要になってきているのです。新しい「総合情報学部」では、人間の感性とコンピュータ技術の両方を理解し、社会のニーズに柔軟に対応できる人材を育てたいと思っています。

来年3月には、富士山静岡空港が完成します。機械工学科に「航空工学コース」を新設し、航空機産業をはじめとする機械産業において高度な設計・開発を担う人材を育成します。実際の航空機に触れていただくために空港近くに分校を設置する計画も進めています。

この遠州地方には、先端的な光産業が生まれています。そのような動きに対応するため電気電子工学科に「光応用・電子デバイスコース」を設け、光デバイス、センサなどを電子機器に応用することができる人材を育てます。

また、物質生命科学科に女子学生に人気のある生命・食品・環境分野としての「バイオ食品化学コース」を設置して、食品機能・食品保存などの研究を進めながらその分野の人材を育てます。

大学の進化形の一部を紹介しましたが、入学したすべての学生諸君が卒業するときに「入ってよかった理工科大学」と言われるようになることが、大学としての最も望ましい進化の形です。

■ 役職者紹介 (平成20年4月1日現在)

学長・総合情報学部長	荒木信幸
理工学部長	古知政勝(教授)
学生部長	秋山憲治(教授)
附属図書館長	宮岡 徹(教授)
機械工学科長	益田 正(教授)
電気電子工学科長	小川敏夫(教授)
物質生命科学科長・科学教育連携センター長	住谷 實(教授)
コンピュータシステム学科長・情報システム学科長	玉真昭男(教授)
人間情報デザイン学科長	荻野 徹(教授)
工作センター長	大塚二郎(教授)
機器センター長	吉田 豊(教授)
情報センター長	鈴木千里(教授)
教育開発センター長	菅沼義昇(教授)
事務局長	澤田厚二

遠州灘

本学の立地している静岡県遠州地区は現代の車社会を作り上げた多くの偉人を輩出している。トヨタの創始者である豊田佐吉氏、ホンダの創始者である本田宗一郎氏、ヤマハの創始者である山葉寅楠氏、スズキの創始者である鈴木道雄氏…。これだけ数多くの自動車メーカー創始者の出身地となり、「ものづくり」が盛んな地域は世界的に見ても非常に稀である。

また、本学の「ものづくり」拠点であるすずよクリエイティブハウスは、平成10年3月に設置され今年で10年が経過し、現在、NHKロボコン、鳥人間コンテスト、学生フォーミュラなど様々な学生による創作活動がおこなわれている。作業をしている学生は非常に活発で頼もしい存在となっている。

「障子をあけてみよ、外はひろいぞ。」トヨタ自動車の創業者である豊田佐吉翁の言葉で、常に外を見て挑戦していこうという気概に満ちあふれた言葉である。本学の学生も困難を乗り越えてチャレンジする心を忘れずに世界に目を向けた挑戦をして欲しいものである。(T)

旅立ち

そして

出会い

卒業証書・学位記授与式

3月15日(土)、平成19年度卒業証書・学位記授与式を挙行し、理工学部生361名、並びに大学院生21名が卒業しました。



卒業生を代表して、物質生命科学科の永倉和彦さんが「大学で得たものを活かし、自分なりの意見、見方をしっかり持って、21世紀と向き合っていきたい。静岡理工科大学の卒業生であることを誇りに思えるよう、これからも精進していきたい」と決意を述べました。

なお、各学科等の学長賞受賞者並びに総代は以下のとおりです。(敬称略)

●学長賞

機械工学科	松澤 孝太
電気電子情報工学科	安本 達矢
情報システム学科	鈴木 恵
〃	安藤健太郎
物質生命科学科	鈴木 優作

●総代

理工学部	機械工学科	深田 徹
	電気電子情報工学科	中川 和知
	情報システム学科	杉本 有里
	物質生命科学科	西村 宰
大学院	システム工学専攻	鈴木 健吾
	材料科学専攻	山本 純也

記念植樹

卒業式前日の3月14日(金)、卒業生代表が「木斛」の木を記念植樹しました。今回は、毎年植樹してきた愛野公園が手狭となったため、道を挟んだ東地区への植樹となりました。この植樹は、4年間お世話になった袋井市民へのお礼として、一期生から毎年行われています。



入学式

4月6日(日)、平成20年度入学式を挙行し、学部生(編入学生を含む)・大学院生合わせて360名が入学しました。

荒木学長から、「これからの大学生活では、じっくり考える習慣を身につけて下さい。そのことによって物の本質を理解する喜びを味わうことができ、応用事例や新しい事象に対しても自分の判断で対処できるようになるでしょう。創造性を培って下さい」との激励がありました。

新入生を代表して、人間情報デザイン学科の佐藤香澄さんが「21世紀にはばたく科学技術者を目指すよう努力します」との宣誓がありました。



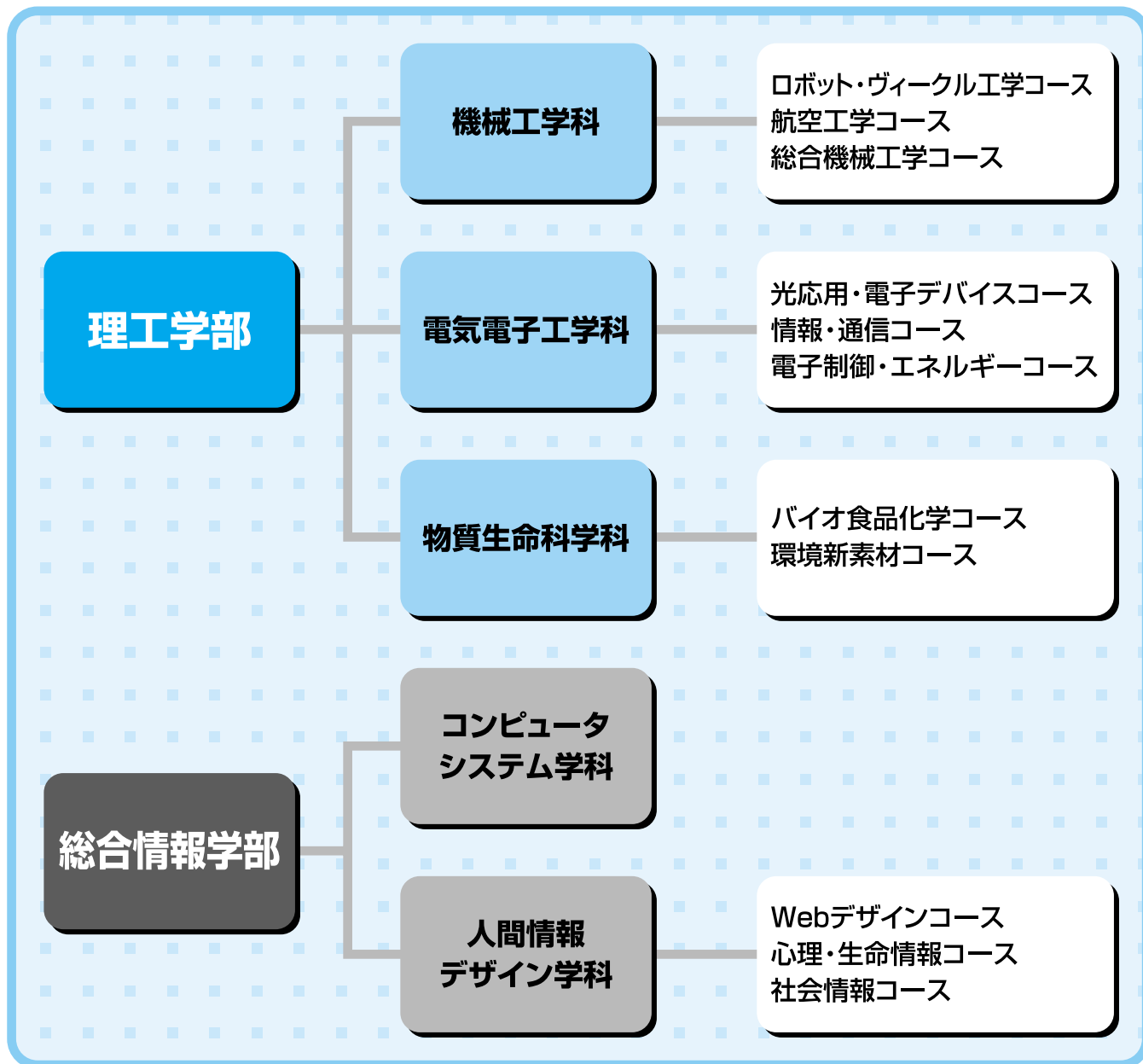
新入生合宿研修

4月8日(火)、9日(水)の1泊2日、松風閣(静岡県焼津市)で新入生・編入生及び教職員合わせて421名が参加し、新入生合宿研修を行いました。1日目は学科別全体研修と助言教員との懇親を行い、2日目は企業見学等を行いました。



学部・学科紹介

平成20年4月、本学は以下の2学部5学科に改組し、教育・研究の拡充を図っています。



教職課程の設置

教員免許の種類は「高校教諭1種」。各学科で取得できる教科は以下のとおりです。

学部	学科	教科
理工学部	機械工学科・電気電子工学科	工業
	物質生命科学科	理科
総合情報学部	コンピュータシステム学科	情報
	人間情報デザイン学科	

機械工学科では!

「自ら考え、創造し、楽しむこと」が機械工学科のモットー。機械創作入門などの体験的な科目と関連して、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学など機械工学の基盤である力学体系から学びます。また、これらをもとに最先端テクノロジーの領域へ踏み込み、講義と並行して実験やインターシップを含む実習を履修。実践的な応用力やコミュニケーション力を磨き、新しい時代のエンジニアとしてのスキルを養います。



電気電子工学科では!

電気電子分野は産業の幅広い分野で応用されており、地元企業からのニーズが非常に高い学問分野です。特に、電力、電子制御、電気・電子回路設計に関するニーズは年々増加しています。これら地元企業からの要望に応えることができる学生を育てるために、「もの作りの制御」を合言葉に3つのコースを中心とした学科構成となっています。また、必要科目を履修して卒業することにより取得できる資格も用意しています。



物質生命科学科では!

物質生命科学科は、化学を中心として機能性材料、生体材料、遺伝子、食品などの基礎を、講義だけでなく少人数での実験や演習などで実践的に修得します。さらに、環境新素材として注目されている太陽電池材料、磁性材料、触媒材料や、バイオ・食品分野で扱われる遺伝子、微生物、タンパク質などの専門的な知識と分析技術を身につけ、バイオテクノロジー、食品化学、環境問題、エネルギー問題について理解・分析し、明るい未来を創造できるような人材を育成します。



コンピュータシステム学科では!

計算機科学をベースとし、コンピュータとソフトウェア技術に関する教育を行います。コンピュータ活用技術やプログラミング能力を基礎に、組込みシステムや、ネットワークシステム等、各種システムの高度な設計・管理ができる人、社会で即戦力となるエンジニアを育成します。また、3DゲームやCGの制作を通して、デザイン能力と創造性豊かな3次元デジタル表現技術を身につけた人材を育成します。



人間情報デザイン学科では!

「Webデザイン」、「心理・生命情報」、「社会情報」の3コースからなり、「コンピュータ」、「人間」、「産業社会」、そしてそれらの学際領域を学びます。コンピュータと情報技術(IT)をベースに、画像処理、CG、3次元CAD、心理、生命科学、経営、統計、社会調査、マスメディア、言語などの専門分野を横断的に学ぶことで、情報を活用する総合力を養います。この総合力を基盤に、「人間にとって心地よいコンピュータシステム」を企画・デザイン・創造する力を身につけます。



中学生のための実験講座

平成19年8月6日（月）、本学電気電子情報工学科主催による袋井市内の中学生を対象とした「電気に関する実験講座」を開催しました。9回目の開催となった今回は30名の中学生が参加し、モータを使った簡単なロボットや電気回路の作製など、いろいろな電気の実験を体験しました。



公開講座

平成19年9月1日（土）、9月29日（土）、10月13日（土）に、「後期公開講座」を開催しました。「進化への挑戦」を共通テーマに、1回目は本学機械工学科の榊田勝教授と株式会社エイ・エス・アイ総研の太田豊彦氏が、2回目は本学電気電子情報工学科の恩田一教授と小澤哲夫准教授が、3回目は、本学物質生命科学科の常吉俊宏教授と独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の山本万里氏がそれぞれ講演しました。



市民体験入学

平成19年8月26日（日）「市民体験入学」を開催し、240名を超える地域住民の方が参加しました。当日は、経済アナリストの森永卓郎さんが「IT革命の後にくるもの～バブルとデフレを越えて～」と題して全体講義を行った後、本学教員による10テーマの選択講義を行いました。



大学祭

平成19年10月27日（土）・28日（日）の両日、第17回の大学祭「SISTIVAL 07」（実行委員長：3年 増田加世さん）を開催しました。

“Joyful” = 楽しく、“Original” = 独創的で、“Interesting” = 魅力ある、“Nice” = 素晴らしい、の頭文字からテーマを「JOIN」とし、両日とも活気に満ちた、賑やかな大学祭になりました。



公開シンポジウム

平成20年1月26日（土）「21世紀の新しいロボット技術」をテーマに公開シンポジウムを開催しました。

当日は、トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット開発部 第3設計グループ長の山田耕嗣氏による基調講演の後、「ロボット技術が社会を変える」をテーマにパネルディスカッションを行い、参加者も交えて活発な質疑が行われました。



SIST企業セミナー

平成20年3月7日（金）、10日（月）の2日間、本学で「SIST企業セミナー」を開催しました。両日で151社の企業に参加いただき、約300名の学生は参加企業の人事担当者との面談に臨みました。



★**学長特別表彰** 平成19年9月以降に学長特別表彰を受賞した団体・学生は以下のとおりです。おめでとうございます。（敬称略）

平成19年9月13日授与

- 団体名「Shizuoka All-round Technology (SAT)」
- 受賞理由「日本ソーラー&人力ボート全日本選手権2007」のソーラーボートBクラス部門において、スピード3位・スラロール2位受賞



- 団体名「鳥人間を目指す飛行機研究会Sky Traveler」
- 受賞理由「第31回鳥人間コンテスト選手権大会」の滑空機部門（フォーミュラ）において、5位受賞（飛行距離71m）



平成19年10月11日授与

- 団体名「シスト・フォーミュラ・プロジェクト」
- 受賞理由「第5回全日本学生フォーミュラ大会」において、スポーツマンシップ賞・ユニークデザイン特別賞3位・日本自動車工業会会長賞5位受賞



平成19年12月21日授与

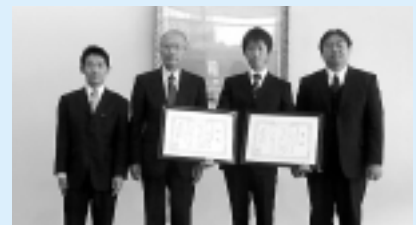
- 団体名「弓道部 女子チーム」
- 受賞理由「第51回東海学生弓道秋季リーグ戦」の女子V（5）部Bブロックにおいて、優勝



- 受賞者 加藤楽子（大学院材料科学専攻2年）
- 受賞理由「第24回日韓国際セラミックスセミナー」において、若手奨励賞受賞



- 受賞者 竹下誠司（情報システム学科3年）
- 受賞理由「第1回西日本学生フィギュアスケート選手権大会」において、Bクラス団体1位・個人1位受賞



チャレンジハイク

平成20年5月18日(日)、毎年恒例のチャレンジハイク(クラブ連合委員会主催)が開催されました。今年は晴天に恵まれた中、大学 エコパ 愛野公園 可睡齋 大学の約25Kmに学生100名がチャレンジし、全員完歩しました。



公開講座

平成20年度前期公開講座を、5月24日(土)、6月28日(土)に開催しました。

第1回講座は「食の安全性について考えよう」をテーマに、本学物質生命科学科の山田志朗教授と独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所の川崎晋研究員が、第2回講座は「身近な中国、知らない中国」をテーマに、本学人間情報デザイン学科の中村壘講師と浜松大学の白春驩講師が講演を行いました。



学外表彰

平成20年4月25日(金)、機械工学科の大塚二郎教授が、第40回市村産業賞(功績賞)を受賞されました。本受賞は、大塚教授と共同研究を実施している企業が製品化した「ボールねじ駆動によるナノメートル分解能位置決め装置」が、ナノテクノロジー分野の位置決め関連の発展に大きく貢献していると評価されたためです。

写真左:大塚教授



写真右:郡教授

平成20年5月22日(木)、電気電子工学科の郡武治教授が、社団法人電子情報通信学会モバイルマルチメディア通信研究専門研究会(MoMuC)の「平成19年度最優秀発表賞」を受賞されました。本受賞は、本年1月に研究発表した「ビタビ復号アルゴリズムを用いた位置検出の検討」が平成19年度の最も優秀な研究報告であると評価されたためです。

★平成20年度優秀賞表彰式

5月21日(水)、1年間の学業成績が優秀であり、人物面においても本学学生として模範である学生に贈られる「静岡理工科大学優秀賞」の表彰式が行われました。受賞者30名に荒木学長より表彰状と副賞が授与されました。受賞者は次の通りです。(敬称略)



機械工学科

2年生 清水 隆広
森 宏聡
3年生 後藤 将也
山本 直輝
4年生 杉村 慎弥
宮田 智

電気電子情報工学科

2年生 大岩 俊樹
孫六 正尚
3年生 仁科 孝之
服部 将和
4年生 加々美友宏
鈴木 啓之

物質生命科学科

2年生 大砂 裕司
緒方 智美
3年生 秋山 祐希
中嶋 茜
4年生 大塩 潤
松田 卓子

情報システム学科

2年生 加藤佑里恵
金井比呂乃
新聞 修人
蒔山 沙織

3年生 児島 史門
小島 基明
瀧尾 浩志
本多 聖矢

4年生 杉浦 司
仲尾 祥子
中根 章宏
大池 悠詞

平成20年度学年暦(学部・大学院)

前期定期試験	7月24日(木)～8月4日(月)
夏期休業	8月5日(火)～9月18日(木)
前期追・再試験対象者発表	8月26日(火)
前期追・再試験期間	9月1日(月)～9月5日(金)
後期ガイダンス	9月19日(金)
後期授業開始	9月22日(月)
大学祭	11月1日(土)・2日(日)
冬期休業	12月24日(水)～1月5日(月)
後期試験	1月20日(火)～1月29日(木)
後期追・再試験対象者発表	2月12日(木)
後期追・再試験期間	2月19日(木)～2月25日(水)
春期休業	2月26日(木)～3月31日(火)
卒業生・修了者発表	3月6日(金)
卒業式・修了式	3月14日(土)

2009年度入試日程

入試種別	出願期間	試験日	可否通知日
一般推薦	平成20年 10月20日(月)～ 11月5日(水)	11月15日(土)	11月21日(金)
一般前期(A) [3教科型]	平成21年 1月5日(月)～ 1月30日(金)	2月3日(火)	2月13日(金)
一般前期(B) [2教科型]		2月4日(水) 2月5日(木) (試験日自由選択)	
前期センター試験利用 入試(A) [3教科型]	平成21年 1月5日(月)～ 1月30日(金)	本学独自の 個別試験なし	2月13日(金)
前期センター試験利用 入試(B) [2教科型]			
一般後期 [2教科型]	平成21年 2月16日(月)～ 3月5日(木)	3月12日(木)	3月19日(木)
後期センター試験利用 入試(A) [3教科型]	平成21年 2月16日(月)～ 3月9日(月)	本学独自の 個別試験なし	
後期センター試験利用 入試(B) [2教科型]			

叙 勲

平成20年春の叙勲で、前基礎教育室教授の小林純一先生が「瑞宝中綬章」を受章されました。

小林先生は、平成4年4月から平成11年3月まで、本学教授(平成5年7月～平成7年3月は学長特別補佐を兼務)として在職され、平成11年4月から平成16年3月までは、本学総合技術研究所客員教授を歴任されました。謹んでお祝い申し上げます。



訃 報

平成19年12月1日(土)、前物質科学科教授の藤田英一先生がご逝去されました。享年82歳でした。

藤田先生には平成3年の開学前から平成8年3月まで、本学の教育・研究にご尽力いただきました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。



人事異動

平成19年10月1日付採用



理工学部機械工学科 教授 前川昭二
専門分野:振動論、構造力学、航空機工学
略歴:京都大学工学部卒、イリノイ大学大学院航空宇宙工学科博士課程修了。川崎重工業(株)、宇宙航空研究開発機構招聘研究員を経て、本学教授に就任。趣味:ゴルフ、カメラ



理工学部物質生命科学科 教授 山庄司志朗
専門分野:食品化学、食品微生物学、生物化学
略歴:島根大学農学部卒、神戸大学大学院農学研究科修士課程修了。キング醸造(株)、神戸学院女子短期大学、(株)日研生物医学研究所技術顧問を経て、本学教授に就任。趣味:海釣り、登山、映画鑑賞

平成20年4月1日付採用



理工学部機械工学科 教授 安 昭八
専門分野:高速空気力学、光学式流体計測技術、航空機用ジェットエンジン開発
略歴:岩手大学工学部卒、東北大学大学院工学研究科博士課程修了。石川島播磨重工業(株)、(株)アイ・エヌ・シー・エンジニアリング技術本部副本部長を経て、本学教授に就任。趣味:能楽鑑賞、オペラ鑑賞



総合情報学部人間情報デザイン学科 客員准教授 奥村 哲
専門分野:神経科学、神経行動学、生理学
略歴:東京医科歯科大学歯学部卒、総合研究大学院大学博士課程修了。生理学研究所、(独)理化学研究所研究員を兼務して、本学客員准教授に就任。趣味:リコーダー演奏、合唱、スキー



教育開発センター 特命講師 亙理陽一
専門分野:英語教育、教育方法学、教科カリキュラム論
略歴:北海道大学教育学部卒、同大学院教育学研究科博士後期課程修了後、本学特命講師に就任。趣味:映画鑑賞、麻雀、スキューバダイビング

お疲れ様でした(平成20年3月31日付)

機 械 工 学 科 教授 榊田 勝 (H20.4～客員教授)

機 械 工 学 科 准教授 越水重臣

電 気 電 子 情 報 工 学 科 教授 冠 昇

情 報 シ ス テ ム 学 科 教授 梶 真 壽 (H20.4～名誉教授)

情 報 シ ス テ ム 学 科 教授 渡辺俊幸 (H20.4～客員教授)

物 質 生 命 科 学 科 講 師 幡野明彦

学生相談室 だより

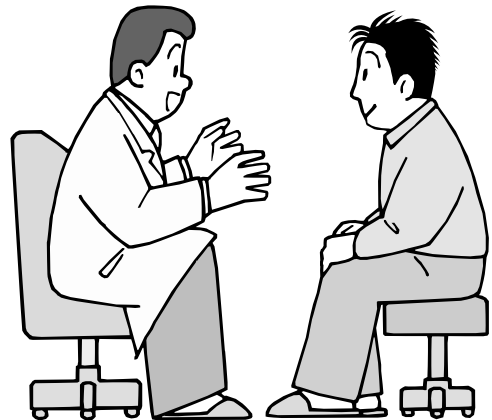
悩みごと・困りごとは 相談しよう!

本学では助言教員と学生相談室が連携して、学生の悩みごと・困りごとの解決を図っています。学生は、助言教員（クラス担任のような教員）、所属学科の学生委員の教員、または学生相談室のカウンセラーに相談し、助言・指導を受けることができます。

学生の悩みごと・困りごとには、授業欠席、成績不振、留年、就職困難などが多く、精神的な問題が関与している場合があります。学生相談室には、毎月1回、病院に所属する臨床心理士が勤務し、相談・指導とともに、必要に応じて医療機関を紹介しています。

しかし、精神的な問題があるにもかかわらず、助言教員や学生相談室を避けている学生がいます。このような学生には、問題が深刻化しないように、早期に対処することが不可欠です。そこで、精神的な問題の兆候がみられた段階で、本学から保護者へお知らせする方針をとっています。

本学では大学の教職員が一体となり、悩みごと・困りごとに対応しています。学生が快適な学生生活を過ごすために、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。



豊田工業高等専門学校 機械工学科 助教
田中 淑晴さん
(本学機械工学科卒業、本学大学院修士課程修了)

活躍する卒業生

私は現在、愛知県豊田市にある豊田工業高等専門学校で機械工学科助教として勤務しています。ここでは、高校のような学生指導や部活動などから大学のような研究活動まで行っており、多忙ではありますが日々やりがいを感じて仕事をしています。高専の多くの学生は15～20歳と大学生より少し若く、学生のパワフルさに刺激を受けて毎日楽しく過ごしています。現在は、赴任初年度ということもあり、それほど多くの授業は担当していませんが、製図の講義では大学で学んだことが活かされています。

私の大学生時代を振り返ってみますと、授業を受けてバイトして大学の友達と遊ぶといった、どこにでもいる普通の学生だったと思います。今考えてみると、私の人生の転機は研究室配属であったように思います。卒業研究として研究室に配属され、卒研を通じて物事を探求していく面白さを知りました。それからは、研究を続けるために大学院に進学し博士の学位を取得するに至りました。このように今の人生のベースを築いたのが理工科大学であったのだと思います。

これからは、学生を教育する立場となりましたので、少しでも社会の役に立つことができる人材を育てていくとともに、自分自身も貢献できるよう努力していきたいと思っています。

財団法人日本高等教育評価機構による 大学評価で適合認定



本学は、平成19年度に財団法人日本高等教育評価機構による『大学機関別認証評価』を受審し、平成20年3月19日付で「本評価機構が定める大学評価基準を満たしている」との認定を受けました。なお、本学に対する評価報告書につきましては、本学ホームページで公開しております。

今回の評価結果において、本学は「特色ある優れた教育研究活動や社会貢献が行われている」との評をいただきました。

今後も、本評価結果に甘んじることなく、本学の理念である「豊かな人間性を基に、『やまゐか精神と創造性』で地域社会に貢献する技術者を育成する」ことを目指し、教育・研究・地域貢献に邁進してまいります。また、評価に付された助言に対しては、教職員一同、これを真摯に受け止めて、更なる改善・改革を進めてまいりますので、今後とも、本学に対するご支援をよろしく願いたします。

学長 荒木信幸

後援会
だより

父母懇談会の 開催

日時：平成20年11月1日(土)
10:00～

<大学祭1日目>

会場：本学300講義室(学生ホール3階)

父母懇談会では、午前全体会と学科別懇談会、午後個別面談(希望者のみ)を開催します。なお、詳細なご案内は9月にお送りする成績表に同封させていただきます。

同窓会
だより

ホームカミングデー の開催

本年も、本学にて第8回ホームカミングデーを開催します。

当日は、コミュニケーションゲームや豪華商品が当たる大抽選会を企画しています。同窓会員の皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成20年11月2日(日)
11:00～12:30<大学祭2日目>

会場：本学食堂(体育厚生棟1階)

参加料：無料

平成20年度後期

公開講座

第1回

テーマ：CGから見える世界

9月27日(土)午後1時30分～4時30分

講演1「コンピュータグラフィックスから見えてくること」

本学総合情報学部 助教 手島裕詞

講演2「コンピュータグラフィックスはなにを成し遂げてきたか」

ゲームデザイナー・シナリオライター 菊田裕樹

第2回

テーマ：航空機がもつ大きな可能性

10月25日(土)午後1時30分～4時30分

講演1「期待される無人飛行船」

本学理工学部 教授 前川昭二

講演2「環境に優しい超音速飛行機」

独立行政法人宇宙航空研究開発機構

航空プログラムグループ 事業推進部 部長補佐 吉田憲司

入場無料
申込不要

会場／静岡理科大学 学生ホール3階300講義室

問合せ先／静岡理科大学事務局総務課

☎0538-45-0111(代)



静岡理科大学キャンパスキャラクター

静岡理科大学の愛らしいキャンパスキャラクターとして誕生したのは平成18年。現在、商標登録出願中です。大学のいたる場所や大学イベント等の機会に登場します。可愛がってください。



お理工ちゃん

大会に向けて
準備万端!!

学生フォーミュラ!



第6回全日本学生フォーミュラ大会が9月10日(水)～13日(土)、エコパで開催されます。本学は書類審査に合格し、一昨年、昨年に続き3回目の出場を果たし、現在、本大会出場に向けて最終調整中です。

シストフォーミュラプロジェクトの高田裕太郎部長は「現在車輛の仕上げにはいり、部員一同、入賞を目指して昼夜を問わず活動しております」と意気込みを語ってくれました。顧問の機械工学科の土屋高志准教授は「学生は非常に頑張ってきており、書類審査もデザインレポート・コストレポートと苦勞して無事通過しました。この頑張りはきっと実を結んでくれるものと信じております」と話してくださいました。参加する学生のがんばりを期待しています。

編集後記

宇宙ステーションの建設やエコシステムの開発など、科学技術は大きく変化、発展していますが、地球温暖化も進んでおり、人は今日を「激動の時代」と呼ぶこともあります。

この激動期に本学は、変化ではなく新しい時代に適応した進化を見せています。今回、進化にふさわしい新学部・学科の再編に関する内容を特集しました。激動期を着実に乗り越えていくこと。これは、すべての人の決断と行動にかかっている?!?!(S)

静岡理科大学キャンパスニュース

平成20年8月1日発行

企画・編集・発行 / 静岡理科大学大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

<http://www.sist.ac.jp>